

ソフトバレーボールで心地よい汗 (3月13日 川上小学校・中学校)

教育委員会川上分室の主催で「第5回川上町ニュースポーツ大会」を開催しました。川上町内の各地区、企業、有志などで構成した23チームが参加。選手約150人は家族や友人などからの声援を受け、楽しくふれあいながら競技しました。



もっと知ろう ～新高梁市を～ (3月18日 川上・備中町方面)

市内の公共施設等を見学する「市政見学バス第1号」が運行しました。高梁北婦人会の会員48人が参加。市のマイクロバス2台で新規就農者施設「山光園」(備中町西山)や老人保健施設「ひだまり苑」(川上町地頭)など川上・備中町方面の5施設を見学しました。(写真は「ひだまり苑」で職員から説明を聞く参加者)

もしもに備えて (3月22日 備中診療所)

心臓に電気ショックを与えて突然死を防ぐ「自動除細動器(AED)」の実技講習会が開かれ、地域住民ら約40人が参加しました。“もしもの時”、救急車が到着するまでの対処として有効な、同機器の理解を深めるのがねらい。参加者は関係者からの使用方法を真剣に聞いていました。



県大会へ落合分団と成羽分団第4部 (3月23日 ききょう緑地)

合併後初めての市消防操法訓練大会が開かれ、旧市、郡単位で小型動力ポンプを使った競技が行われました。1チーム5人が、動作姿勢や時間、情報伝達の正確さを競いました。旧高梁市は落合分団が、旧川上郡は成羽分団第4部がそれぞれ優勝し、5月15日に行われる県大会(県消防学校・瀬戸町)に市代表として出場します。なお、昨年ポンプ車操法の部で優勝した川上方面隊自動車分団も出場します。



子ども神楽やカラオケ大会 (4月2日 成羽総合福祉センター)

「成羽町桜まつり」(商工会など主催)が開かれ、大勢の市民が、芸能発表やカラオケ大会を楽しみました。芸能の部には、大正琴の演奏など地元8団体が出演。カラオケの部では、24人が演歌など日ごろの練習成果を発揮して、会場を沸かせました。

桜まつり～藩政時代の趣を再現～ (4月3日 紺屋川美観地区周辺等)

「たかはし城下まち桜まつり」が開かれ、つばみ桜のもと多くの市民や観光客でにぎわいました。恒例となった備中松山藩古銃鉄砲組による演武で幕開け。旗行列は羽織はかま姿で紋入りの旗を掲げて練り歩き、祭りを盛り上げました。



酒蔵でジャズコンサート (4月3日 有漢芳烈酒造酒蔵)

有漢町商工会青年部の主催で「Jazz from Ukan 2005」が開かれ、会場となった同酒蔵には、市内外から200人を超えるファンが訪れ、築約120年の趣ある酒蔵でのジャズ演奏を満喫していました。同イベントは、まちおこしの一環で行われており、今年で12回目。

ゆずり合うマナーがきりり高梁路 (4月6日 文化交流館)

春の交通安全啓発行事として「交通安全フェスタ」が開かれました。内閣府主催の交通安全作文コンクールで内閣官房長官賞受賞作品(長谷川拓磨君=高梁小3年/小学生の部、長谷川一馬君=高梁中3年/中学生の部)の発表がありました。2人は兄弟。

アトラクションでは、交通安全啓発グループ「ハッサンズ」による演劇もあり、来場者約200人は“楽しく、大いに笑いながら”交通安全に対する認識を深めました。

